

① 学会・研修会・講習会等の名称：

## 脳画像を理解するための脳の機能解剖と脳画像の基礎知識 ～脳画像を理解するために習得すべきこと～名古屋会場～

②日 時：2020年3月20日（金・祝）10:00～16:00（受付9:30～）

③内 容：

### 【講義概要】

リハビリテーションにおいて脳画像を活用する意義は、評価の精度を高め、治療的介入をより確かなものとすることにあります。

このセミナーは『脳画像のリハビリテーションへの活用～画像から考える臨床症状とアプローチ～』の前編と位置付けております。前編となる本セミナーと、後編となる『脳画像のリハビリテーションへの活用～画像から考える臨床症状とアプローチ～』を受講することによって、臨床で脳画像情報を実際に活用できるようになることを目標とします。

前編であるこのセミナーでは、大脳の皮質の解剖の整理と機能を中心に解説します。

脳は表面にあるおよそ2.5mmほどの厚みを持つ、皮質で覆われているような構造であり、この皮質は灰白質で、灰白質の深部は白質になります。灰白質には神経細胞が存在し、白質には軸索が存在します。言い換えますと、表面にCPUの役割を果たす神経細胞のある皮質が存在し、その情報を伝える軸索が白質に存在するのです。

まず皮質の解剖を学び、次の後編となるセミナーでは白質の解剖を中心に学びます。実際、脳卒中の多くは白質に病変が存在することが多いのですが、皮質の理解なしに白質を中心とした解剖を学ぶのは難しいため、このセミナーではまず皮質を中心に学びます。

本セミナー終了後には、自分の評価結果と介入根拠が脳画像所見から説明でき得るか、気になって、いつの間にか脳画像をみに行く、それが習慣化して、画像所見を確認する、そのような脳を意識した脳卒中リハビリテーションを実践するきっかけを作るセミナーにしたいと思います。

④ 講 師：阿部 浩明 先生

（一般財団法人広南会 広南病院 リハビリテーション科総括主任・理学療法士）

⑤ 会 場：名古屋国際会議場 4号館 3階 会議室 431+432

⑥ 受講費：12,800円（税込）

⑦ 定 員：80名

⑧ 申込先：[株式会社 gene ホームページ](#)よりお願い致します。

⑨ 締 切：定員になり次第締め切り

⑩ 主 催：株式会社 g e n e